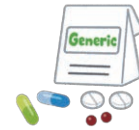


# ジェネリック医薬品 (後発医薬品)について



新しい医薬品を販売するには、開発から製造・販売の承認まで長い時間と莫大な費用がかかります。有効成分や製法、使用する製剤などにそれぞれ20～25年の特許期間が設定され承認された製薬会社は独占的に販売されます。このように販売される医薬品を先発医薬品といいます。

ジェネリック医薬品とは、先発医薬品の有効成分の特許期間が過ぎたあとに、他の製薬会社が製造・販売できる後発医薬品のことです。先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、同一経路から投与する製剤で、効能・効果、用法・用量が原則的に同じで先発医薬品と同等の臨床効果・作用が得られる医薬品をいいます。研究開発にかかる費用が低く抑えられることから先発医薬品に比べて低価格です。



効能・効果は同じですが、例えば錠剤を固めたりするのに添加剤を入れます。これは先

発医薬品が製造特許を有している場合などはジェネリック医薬品は先発医薬品と異なる添加剤を使用することがあります。添加剤の成分や配合量が先発医薬品と異なっても有効性や安全性に違いが出ることはないように様々な試験データの提出を求めて厚生労働省は先発医薬品と同等であることを確認しています。また一方でジェネリック医薬品ならではの改良点もあります。例えば先発医薬品は湿気やすいのをジェネリック医薬品では湿気にくくしたり、飲みやすい大きさや味を改良したり、口の中での溶けやすさを改良したりなどです。



世界で最も優れていると言われている日本の医療の質を落とすことなく、また国民皆保険制度を今後も継続させていくためにも医療費削減が叫ばれ、ジェネリック医薬品を積極的に使用するよう推進が行われています。

ただ先発、後発のどちらを選択するのは患者さん御本人です。悩んだときは医師、または当薬局薬剤師にご相談下さい。



株式会社 泉州保健医薬研究所



# 薬局だより



〒590-0820 大阪府堺市堺区高砂町4丁109-3 TEL:072-244-3116 FAX:072-244-3017 <http://www.kpg.co.jp/>

**みのり薬局**は、2005年8月に泉州保健医薬研究所の8番目の薬局として岸和田市荒木町にオープンしました。当社で1番南にある薬局です。

主に阪南医療生協診療所の処方箋を受けていますが、岸和田徳洲会病院、盈心会病院、岸和田市民病院など地域の病院、診療所の処方箋もたくさん受けています。また近隣の医療機関やケアマネジャーの依頼に基づき在宅で療養されている方に在宅訪問も行っております。

10人ほどで待合室がいっぱいになってしまうような小さな薬局ですが、安全、安心をモットーに正確で迅速な調剤を心がけております。処方の内容によってはお待たせすることもありますので、お時間がかかることをお伝えしたり絵本や雑誌を置いたり、少しでも快適にお待ちいただけるようにこころがけております。

またアレルギー疾患の方が多いこ

とから低刺激性の石鹼（アトピコ石鹼）やウェット・ラップ手技に用いるチューブ型包帯（チュビファースト）、スキンケアのドゥーエ商品も取り扱っております。

地域の方に気軽に何でも相談していただける「安心と信頼のかかりつけ薬局」をめざして職員一同がんばっておりますので、今後ともよろしくお申し上げます。



〒596-0004  
大阪府岸和田市荒木町2-2-22  
TEL:072-448-7120  
FAX:072-448-7130

(株)泉州保健医薬研究所

## 薬剤師募集

- 協和薬局
- オリーブ薬局
- ヒマワリ薬局
- タンポポ薬局
- みのり薬局
- あゆみ薬局
- たかさご薬局
- さくら薬局

お問い合わせ TEL:072-244-3116